

2017年8月22日

報道関係者各位

株式会社ジオホールディングス

埋蔵金額は2年で500億円増加！？
使っていない携帯電話には価値がある！
自宅に眠っている“埋蔵携帯”の総額価値は
『1兆7,013億円』

株式会社ジオホールディングス（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：遠藤結蔵）の子会社、株式会社ジオ（本社：愛知県名古屋市中区、代表取締役社長：吉川恭史）は、関西大学の宮本勝浩名誉教授協力のもと、現在使われていない自宅に保管している携帯電話（＝“埋蔵携帯”）の価値を試算した結果、“総額1兆7,013億円”となったことを発表します。



携帯電話の中古市場は近年注目を集めています。ジオにおいては、2014年から2017年における中古携帯の売上数量が、前年比135%で毎年推移しており、今後さらに拡大していく見込みです。

このたびジオは、中古携帯市場の活性化を目的に、2015年に実施した『埋蔵携帯の総額価値』の試算を再度実施いたしました。

関西大学の宮本勝浩名誉教授にご協力頂き、“埋蔵携帯”を「現在使われていない自宅に保管している携帯電話」と定義し、『埋蔵携帯の総額価値』を“1兆7,013億円”（※）と算出いたしました。

（※）1人当たりの平均携帯保有台数から平均契約携帯台数を差し引き、日本における実際に携帯電話を保有している人数を掛けたものを『埋蔵携帯台数』と試算し、中古携帯の平均買取価格を掛けることで算出。

（※）算出根拠となる別途資料あり。

本件に関するお問い合わせは下記までお願いします
株式会社ジオホールディングス 総合企画部 広報課 担当：富永
TEL：03-5911-5784 E-mail：geo-pr@geonet.co.jp

2017年の『埋蔵携帯の総額価値』試算結果“1兆7,013億円”は、2015年に実施した同様の調査結果である“1兆6,489億円”を、約500億円上回りました。中古携帯市場が注目を集めている一方で、使わなくなった携帯電話を売るという習慣が根付いていないことが、業界の課題であると捉えています。“埋蔵携帯”が中古市場へ流通することで、市場がさらに拡大し、買い替え需要における携帯市場全体への活性化にもつながると考えています。Geoは今後も、より一層、中古携帯の買取・販売を強化していきます。

■Geo「モバイル下取りキャンペーン」について

キャンペーン期間中、中古スマートフォン・ガラケー・タブレットを1台購入する毎に、買取金額が5%アップするクーポンを発行します。

キャンペーン期間：

2017年8月7日（月）～2017年10月1日（日）

※ クーポン発行期間は、2017年8月7日（月）～2017年9月7日（木）まで

「モバイル下取りキャンペーン」サイトURL：

<https://geo-mobile.jp/smartphone-keitakaitori/index.html>

【関西大学宮本勝浩名誉教授について】

<プロフィール>

- ・氏名：宮本 勝浩（みやもと・かつひろ）
- ・生年月日：昭和20年1月12日（72歳）
- ・現職：関西大学 名誉教授

<過去7年間の宮本名誉教授による試算結果>

- ・2011年 「上野動物園のパンダ リーリーとシンシンの経済波及効果」、「東京ディズニーシー開園10周年の経済波及効果」などを発表
- ・2012年 「金環日食の経済波及効果」、「第24回なにわ淀川花火大会の経済効果」などを発表
- ・2013年 「あべのハルカス グランドオープンの経済波及効果」、「『街コン』の経済波及効果」、「理系の女性研究者が増加した時の経済波及効果」、「東北楽天ゴールデンイーグルス優勝の経済波及効果」などを発表
- ・2014年 「田中将大投手のヤンキース入団の経済波及効果」、「大阪道頓堀のグリコの新電光看板の経済波及効果」、「夏の甲子園全国高校野球の経済波及効果」などを発表
- ・2015年 「紀の国わかやま国体・紀の国わかやま大会の経済効果」、「又吉直樹氏の『火花』の経済効果」などを発表
- ・2016年 「ネコノミクスの経済効果」、「SMAP解散で失われる経済効果」、「広島東洋カープ優勝の経済効果」などを発表
- ・2017年 「2017年第89回春の選抜高等学校野球大会の経済効果」、「稀勢の里の横綱昇進による経済効果」などを発表